

機器利用技術講習会のご案内

【高速衝撃試験機】

大阪府立産業技術総合研究所において中小企業の皆様の新技術・新製品の開発に活用いただける機器の利用範囲、性能などの特徴を、ご説明いたしますのでご興味をお持ちください。

**満員御礼！
ただいまキャンセル待ちです。**

◆日 時：平成22年8月27日（金） 13：45～15：45

◆場 所：大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518）

当日は、講習開始時刻前に当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前に、お集まりください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：5名（1社2名まで）

※ 受講票は発行しません。定員を超えたときは、お断りする方のみにご連絡します。

※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます（無料）。

◆費 用：無料

◆申込み先：大阪府立産業技術総合研究所 業務推進部 技術普及課

※ お申し込みはメール (fukyu@tri.pref.osaka.jp) またはFAX (0725-51-2520) でお願ひします。

メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。

なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：高速衝撃試験機

近年、各種の工業製品に対して、安全・安心や防災といった視点からの要求がますます高まってきており、これらの視点に立って、材料や製品を設計・評価することが必要となっています。例えば、自動車の構成部材やスポーツ用品のように、高速で衝撃的な変形が加わる状況で材料や製品が使用される場合、このような変形が加わった際の強度、あるいは破断時の変形量を評価することは極めて重要です。

高速衝撃試験機は、板状、膜状の試料を高速度で変形させたときの強度や変形量を測定できる試験機です。繊維製品やプラスチック（樹脂）はもとより、試験条件や試料の形状次第では、金属や紙材料などの評価を行うことも可能なので、さまざまな産業分野のお客様にご利用いただいています。

本講習会では、本試験機の仕組みや使用方法をご説明するとともに、高速引張り試験の実習を行います。なお、試験片は当所でご用意しますので、持ち込み試料の試験は行いません。



◆講習担当：大阪府立産業技術総合研究所

化学環境部 繊維応用系 研究員 西村 正樹、陰地 威史

